

拝啓 暑中お見舞い申し上げます。今年も早や7月中旬となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。先日目黒の自然教育園の散策に行きましたが、山手線の中にこんな大きな森林が残されているのを見て一同驚きました。高木がうっそうと繁っており、外は暑い日でしたが、自然教育園のなかは、日陰が多く、また通路が風の通り道になっていて涼しく、良い散策ができました。

今回は、カウマン夫人編著の「日の出に向かって」(日本ホーリネス教団出版部)の8回目ですが、8月28日のところに、次のように書かれています。

「一日が始まる前に神と共にいることは、言葉で言い表すことができないほど、なんとすばらしいことでしょうか。あなたを取り巻く世界が目覚め、動き出す前に、その日のために早く備えなさい。夜明けの前の一時が刷新の時です。そして夜明けの静けさが祝福として一日中残るでしょう。静けさの中で、あなたの心を開きなさい。そして、神にあなたの魂を支配して頂きなさい。」

朝型の人と夜型の人がありますが、私は朝型でして、朝早く目が覚め、4時半か5時ごろ起きます。それから洗面をして新聞をざっと読んで、朝の散歩に出かけるまでの1—2時間は、たいていこのエンカウンターとか高円寺東集会、南原研究会の準備などにあてる時間にしてはいますが、良い習慣が身についたと思っています。

最近、米朝会談、サッカーのワールドカップ、水害、タイの洞窟事件など、大きなニュースが続きました。私は、中でも、タイの洞窟の子供ら13人全員が無事救出され、テレビで見る顔も元気そうで、精神の安定した様子がかがえ、全員が短期間であるが僧侶となる計画もあるというニュースを見て、なるほどと思いました。少年たちを指導した若いコーチが僧侶の経験もあり、瞑想を教えたそうですが、そのおかげで彼らはあのように落ち着いていたのでしょう。宗教は生きる力だという小西先生の言葉を思い出しました。

先月南原シンポジウムの本『南原繁と憲法改定問題』が出版され、信仰の知人にお送りしたところ、「南原先生の本でがっかりした。政治、経済、学問は消えてゆくものだから、余り深入りせずに、パウロ、小西先生の伝えた福音によりたのむ者でありますように」という趣旨のお便りを二人の方から頂いて、「この世のことも、目の前の義務を果たすことは大事だと思います」と返事をしました。しかし、忙しさにかまけて、小西先生の伝記と小西先生の説教集の続きを出す計画が遅れ遅れになっています。そこで、やらなければとスケジュールを立てて、説教集の編集に取り掛かったところ、編集の第1段階が、数時間で終わり、今年度中にピリピ書とコロサイ書の講解説教集を出すことにしました。

7月24日から8月3日まで、海外旅行に出かけます。このため、今月号のエンカウンターは、旅行に出かける前にお送りします。

暑い日が続いておりますが、お身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

平成30年7月17日

山口周三

エンカウンターのご読者各位